

令和6年度 専門分科会の調査審議結果について

●地域福祉専門分科会

所掌事務	地域福祉に関すること、地域福祉に係る各種計画策定に対する提言及び進行管理
開催日	令和6年7月26日(金)
調査審議 内容	<p>1 「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン（計画期間：令和5年度～令和9年度）」の令和5年度の進捗状況と令和6年度の取組について</p> <p>(1) 計画の進行管理について 各施策の代表的・効果的な37取組を「重点取組」として、各取組を定量的評価または定性的評価により、3段階の評価を実施し、基本目標については、それを点数化し総合評価を行う。</p> <p>(2) 計画の評価について 【基本目標1】 福祉の心をはぐくむ人づくり (7取組) 順調 【基本目標2】 共に支え合う地域づくり (11取組) 概ね順調 【基本目標3】 安心して暮らせる福祉の基盤づくり (19取組) 概ね順調</p>

評価	基本目標1 人づくり	基本目標2 地域づくり	基本目標3 基盤づくり	定量的評価 基準	定性的評価 基準
A	5	5	10	達成率 100%以上	概ね順調に進捗しており、特に改善すべき課題のない事業
B	2	6	7	達成率 70～100%未満	概ね順調に進捗しているが、一部改善すべき課題がある事業
C			2	達成率 70%以下	改善すべき課題がある事業
総合 評価	順調	概ね順調	概ね順調		

- ・重点取組の進捗状況については、上記の表のとおり、全体的に順調な進捗状況である。
- ・総合評価では、3つの目標とも「順調」または「概ね順調」となっており、順調な進捗状況である。
- ・C評価2事業の目標値は、重層的支援体制整備事業開始前の想定であり、開始後の関係機関との円滑な連携の効果により相談件数等の実績が想定を下回ったものである。
- ・今後も引き続き、各計上事業の内容強化・充実を図りながら、福祉のまちづくりを推進していく。

(3) 主な意見について

- ・C 評価 2 事業については、定量的評価に囚われすぎず、きちんと支援がつながっているかなど、事業目的を踏まえて評価していくことが重要であると考える。
- ・地域福祉における個人情報の活かし方やバス路線などの公共交通の充実について、計上事業所管課と情報共有しながら、より一層福祉のまちづくりを推進していく必要がある。

2 調査審議結果

「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」の令和5年度の進捗状況と令和6年度の取組について、了承した。